



Laurus の翼

令和7年10月31日(金)

【第14号】

文責 校長 高宮 裕

**子どもたちも、大人たちも、安心して登校ができるように
毎月1日（月初めの日）を「安心・安全の日」にしませんか！**

先日、マチコミメールで朝の集団登校で不安な面がありご連絡をしたところでした。上級生が下級生の面倒を見て登校してくる集団登校ですが、班長を中心によく面倒を見ていますが、班長や上級生に安全の責任を負わせることはできません。子どもたちには、「小さい子の面倒を優しくみるように」とは指導しますが、子どもでは面倒を見切れない場合も多々あります。安全な登校を維持していくためには、保護者の皆さんの力や地域の方々のご協力がなければ確保できないものと思います。

そこで、学校長からの提案ですが、**毎月1日（月初めの日）を「安心・安全の日」とし、この日は集団登校の集合場所に保護者の皆様が集まって顔を合わせたり、時間のある方は子どもたちと一緒に歩いてみたりする日にしてみませんか？**そうすることで、自分の子どもはどの班長さんにお世話になっているのか、登校班にどんな子どもがいてどんな保護者の方がいるのか、自分の子どもはどんな感じに歩いているのかと、実態がわかり保護者同士のコミュニケーションをとれる場となるかと思ったからです。

本校の現状では、育成会が無いため保護者同士が顔を合わせる場がありません。強制ではないのですが、このような場を活用することで、保護者同士の理解と子どもたちの現状を把握して、上級生も下級生も、どの子も安心して安全に登校できる環境が作れるのではと思いご提案しました。ご理解頂けると幸いです

三校交流学習に行ってきました！

5年生は、10月22日に明健小・行健二小・小泉小の三校で郡山自然の家に交流学習に行ってきました。今年は昨年の反省をもとに、初めから室内での活動でした。初めはぎこちなかったですが、様々な活動を通して、他の小学校の子どもたちと打ち解けて仲良く活動することができました。



広島原爆の話を聞かせて頂きました

小中交流の一環で、今年も中学校の白井先生に広島原爆の授業を行っていただきました。白井先生は広島県出身。毎年、5年生に原爆の話をしていただいています。広島県人として、原爆の悲惨さを伝えるのは責務だと語る白井先生。子どもたちもいつも以上に真剣に話を聞いていました。



安積疏水と一本の水路

4年生は品竹悦子さんをお呼びして、「安積疏水と一本の水路」という紙芝居を呼んでいただきました。品竹さんは各地で語り部としてご活躍されています。3年生も戦争のお話をしていただきました。これからも様々な学習でお世話になりたいと思います。

